

国保改善運動全国交流集会在開かれる

物価高騰下での保険料引き下げを要求、保険料統一に反対を

12月11日（日）に国保改善運動全国交流集会（中央社保協主催）が開かれ、130人が参加しました。大阪社保協の寺内事務局長が国保の歴史を振り返り、戦前の国保は健兵政策のために国がつくったものだが、戦後の新国保は命を守る農民の運動から作り上げられたもので、国民の権利として法律にも社会保障であることが明記されていると。ここに私たちが国保改善を要求する根拠があると述べられました。

愛知県社保協の澤田副議長は、愛知県や名古屋市での運動を紹介し、国に対する運動、県に対する運動、そして市町村に向けた運動を整理して紹介して頂きました。

最後にまとめて、中央社保協の林事務局長は今後の運動として、物価高での保険料引き下げを要求すること、保険料統一には反対すること、保険証の取り上げはさせないことを提起しました。

★橋本伊都社保協が第6回総会を開催

国保、介護保険料の引き下げを求める請願 橋本市議会 委員会で否決

12月17日（土）、橋本伊都社保協が第6回総会を開催しました。開会のあいさつで、代表幹事の村越さんは、社保協が橋本市議会に出した国保、介護保険料の引き下げを求める請願についての委員会審議を傍聴した様子を紹介しました。議員から「国は防衛費にたくさんのお金が必要だから、保険料削減には使えない」「市にはお金がない。国におこられる」という意見。市民の声に寄り添う意見が聞かれませんでした。賛成したのは共産党の高本議員だけで請願は否決されました。村越さんは、社会保障は国、自治体の責務だという私たちの運動の原点を総会で確認したいと述べられました。



★社保協つくて5年 「社保協あってよかったなー」

橋本伊都社保協は結成して5年になりました。5年間のとりくみについてまとめた冊子も配られました。この5年間に行政や議会への働きかけを繰り返し行い、毎月事務局会議を開催し、学習を積みながら活動をされてきました。加盟団体は6つで、賛助会員（会費年間500円）が52人いらっしゃいます。県社保協の総会で発言された父川事務局長は「社保協があってよかったなー」と思うと述べられました。

★年金支給日宣伝行動～物価高騰に見合う年金引き上げを



12月15日（木）、今年最後の年金支給日の宣伝活動をJR和歌山駅前で行いました。物価高騰に見合う年金引き上げを求め、マクロ経済スライドで年金の削減を行う政府を批判しました。9人が参加し、年金署名が13筆集めることができました。